



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



鹿児島銀行と鹿屋市が協力協定締結

6月9日、鹿児島銀行と鹿屋市との間で包括的業務協力協定を締結しました。

この協定は、本市の地域経済の活性化や産業振興を官民協働で支援していくことを目的とするもので、調印式では、松山澄寛^{すみひろ}鹿児島銀行副頭取が「鹿屋は故郷。地域の潜在能力を最大限引き出したい」とあいさつされました。今後、官民協働で企業の6次産業化や設備投資、販路開拓、企業誘致等の支援に取り組むこととしています。

また、当日は同銀行鹿屋支店もリニューアルオープンし、関係者出席のもとセレモニーが行われました。



「本気」で語ろう会」をスタート

7月1日、鹿屋市漁業協同組合で、中西茂市長と地域住民が本音で意見交換する「本気で語ろう会」が、初めて開催されました。

これは、応募のあった9団体（公募型）について開催したもので、初回は「鹿屋の漁村を盛り上げる会」の関係者23人。会では、「古江地区の活性化について」「漁協の経営、将来展望について」の2つのテーマについて、活発な意見交換が行なわれました。

今後は町内会や企業・各種団体を対象に開催するとともに、結果の概要は、市ホームページや広報かのや等で報告していきます。



軽度の介護認定者を支える仕組みを学ぶ

6月27日、市文化会館で、軽度の介護認定者を支える地域づくりをテーマに「新しい地域支援のあり方を考える研修会」が開催されました。当日は、厚生労働省の朝川老健局振興課長とさわやか福祉財団堀田理事長による今後の地域支援事業に関する講演とパネルディスカッションが行われ、参加者は安心して暮らせる地域づくりについて学びました。



県知事と地域リーダーが意見交換

6月9日、かのやばら園で、伊藤祐一郎知事と地域住民が意見交換をする「地域リーダーと語る会」が行われました。

これは、県知事自らが県内各地を出向いて意見交換するもので、市内の各種団体や企業経営者ら約30人が参加。グリーンツーリズムや子育て、まちづくりなどの現状、課題、要望などについて、活発な意見交換が行われました。



大隅よろず相談窓口が開所しました

6月5日、かごしま産業支援センターの相談窓口業務を行う「大隅よろず相談窓口」が市産業支援センター内に開所しました。

同窓口は、大隅地域の中小企業の利便性向上と経済振興の発展を目的に、専門的な知見を有するコーディネーターが、企業の創業や経営・技術・人材等様々な課題に対して、毎週金曜日に無料相談を行います。